

に開設し、1972(明治5)年8月26日から開拓使函館支庁の通訳官福土成豊が1日3回の気象観測を正式に開始いたしました。

国家機関による我が国で最初の気象観測が開始されました。

昭和17年に海洋の調査・研究を所掌に加えるなど内容を充実して神戸海洋気象台に次いで2番目の海洋気象台となりました。

函館海洋気象台は北海道周辺海域の気象海象の観測・予報を担当する気象庁の地方支分部局としての重い使命を与えられて今日に至っております。

2. 函館海洋気象台の業務

- パンフレット 2頁 本州東方海上の海洋観測
- 5頁 地域気象観測
- 6頁 レーダー観測 瞬間降水強度
レーダー・アメダス解析雨量「一目でわかる天気予報」
- 7頁 地震観測
- 7頁 地方海上予報区 北部海域-札幌管区気象台が分掌
札幌管区所掌の渡島・檜山予報区-函館海洋気象台が分掌
- 9頁 航空気象業務

3. 今年の夏の函館の最高気温について

(会報担当者：沢田幸夫 委員)

◎ 出席報告

会 員 数	59名	出 席 率	函 館 北 9月8日	84.21%
出 席	42名		函 館 東 9月7日	75.90%
欠 席	17名		函 館 9月2日	81.63%
他 クラブ 出席	7名		函館五稜郭 9月3日	97.30%
出 席 合 計	48名		函 館 亀 田 9月6日	77.55%
除 外 者	2名			

・ テレフォンサービス(例会移動案内)電話 23 - 2377 番

次回・10月11日 プログラム	野外移動例会 ワールド温泉牧場
--------------------	--------------------



The Weekly Report of

Hakodate North R.C.

函館北ロータリークラブ会報

1999~2000年度 国際ロータリーテーマ

ロータリー2000: ROTARY2000:ACT WITH
活動は一堅実 CONSISTENCY, CREDIBILITY,
信望・持続 CONTINUITY

小池 凌一 会長テーマ 『友 愛』



《第1746回例会》 第12回 10月6日(水)

本日のプログラム

「NTT東日本函館設備報告」

NTT東日本函館設備部長 柳瀬 実氏

★会 長 小池 凌一 ★幹 事 阿相 義則

例会場:函館国際ホテル 〒040-0064 函館市大手町5-10 TEL23-5151
 例会日:毎週水曜日 12:30~13:30 事務局:函館市大手町5-10 二子ビル4F TEL23-3870

1999~2000 〈第1745回例会〉第11号

9月29日の記録

◎司 会 小池 凌一 会長 ◎齊 唱 それでこそロータリー

◎ゲ ス ト 函館海洋気象台長 清水 喜允 氏

◎ビジター 函館R.C. 吉川正彦君・平内靖彦君・木村英夫君・藤井治雄君、
函館五稜郭R.C. 広川政巳君・野又 肇 君・南谷正巳君

◎会長報告 小池 凌一 会長

○残念なお知らせですが、小林会員が転勤の為退会されることになりました。
(小林会員退会挨拶) 本日所用のため欠席されておりますが、田守会員・牛
尾会員も転勤の為、退会となります。

◎幹事報告 阿相 義則 幹事

○留萌ロータリークラブより第2510地区の囲碁大会開催のご案内が来てお
ります。11月23日(祝日)場所は札幌にあります「囲碁会館」です。参加希
望の会員は幹事まで。
○和歌山城南ロータリークラブより10月7日から例会場が「アバローム紀の
国」に変更になりますとのお知らせが来ております。
○10月4日(月)函館亀田R.C. 移動例会、8日(金)函館五稜郭R.C. 夜間例会に
各々変更になります。

◎親睦活動委員会 佐藤 康幸 委員

ニコニコBO投入報告

田守 会員……皆様にお世話になりました。

小笠原会員……BOXに協力。

中野 会員…… ”

森(秀) 会員…… ”

小林 会員……長い間お世話になりました。クラブの発展をお祈り致してお
ります。

小池 会長……田守・小林会員、長い間有難うございました。

田畑 会員……秋になっておいしい物が食べられます。

藤田 会員……すっかり秋らしくなりましたね。

椎谷 会員……BOXに協力。

◎卓話 「函館海洋気象台の概要」 函館海洋気象台長 清水 喜允 氏

1. 函館海洋気象台の概要

気象庁の地方支分部局 管区気象台 札幌・仙台・東京・大阪・(沖縄)
海洋気象台 函館・神戸・長崎・舞鶴

沿革 パンフレット 最終10頁

創立 明治5年(1872年)8月26日

気象庁は明治8年(1875年)6月1日

米国東インド艦隊司令官 ペリー 1853年浦賀に来航、大統領の命、開国要求
1854年日米和親条約 下田と函館を開港

米国東インド艦隊司令官ペリーは、米国大統領の命により2度にわたり艦
隊を率いて浦賀に来航し開国をせまり、ペリーの要求を受け入れた我が国は日
米和親条約を安政元年(1854年)に締結し、その中で下田と函館を開港し、長い
間の鎖国政策に終止符を打ち、外国船の入港を認めました。直後にペリー艦隊
は函館寄港いたしました。その模様を伝える「ペリー提督日本遠征記」に函館
の冬と春の気候は下田よりも寒く、もやがしばしばかかり、かつ、濃いものが
多い。5月18日から6月3日までの間に寒暖計は華氏51°Fから66°Fの間を上
下し…と記されており、これが函館の気候が海外で紹介された最初のものであ
ろうとされております。この観測された気温を摂氏に換算すると10°Cから19°C
の温度に相当します。また、もやがしばしばかかり、かつ、濃いものが多いと
いう記述には、現代の我々の観察とも共通するものがあります。

ペリー来函の秋、嵐によってクリミヤ戦争に参戦中の英仏連合艦隊が沈没す
るという歴史的に大きな事件も発生いたしておりましたから、外国から我が国
に来日された外国人においては気象への関心は相当に高かったものと推察され
ます。ペリー来函の8年後の1862年にイギリスから渡航したブラキストンは函
館に在住し、1864年から8年間雨雪日数を観測し、また、1868年から4年間気
温・気圧を観測致しました。北海道開拓使顧問団長と来函した米国人ケプロン
は、北海道の気候に適合する農作物を推定するためにブラキストンの観測資料
を利用いたしました。ケプロンは気象観測の重要性を通訳官福土成豊を通じて
北海道開拓使函館支庁に進言し、これが認められるところとなりました。これ
に伴い気象測器がイギリスに発注され、注文の測器が到着したのを機会に、開
拓使函館支庁は気候測量所を当時の函館区船場町9番地、現在の金森倉庫付近